

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)	良く なっている	商店街（代表者）	それ以外	・3月の半ばに私鉄の相互直通運転が開始されてから、隣県から当地域に人が大勢来ている。併せてアベノミクスによる株高を受けて富裕層の消費動向が非常に良く、クレジットカードの取扱高に顕著に反映されており、前年比約15%増となっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今の景気はアベノミクスの影響が非常に良く出ている。総体的に来客数が多くなっていることは事実である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前の1月は大変寒く、飲食業は暇な時期である。その1月と比べれば、今は大分良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・国内団体旅行の見積が増えている。以前よりも料金交渉が減ってきており、ある程度、旅行費用が高くても受注できるようになってきた。
やや良く なっている		商店街（代表者）	単価の動き	・昨今、多少動きがあるように感じるが、通常の価格で売っているとなかなか伸びてこない。何でも安く提供している店、ディスカウント店は多少伸びているようだが、まだ一般的に景気が良くなってきていない。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	お客様の様子	・株高など世の中の雰囲気が良くなっており、最近の客の様子は、良い方向へ向かっている。
		一般小売店〔文具〕（経営者）	販売量の動き	・今月は新学期のため、2、3月より成績が上がっている。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	来客数の動き	・小売では客単価が若干下がっているが、来客数が上がっているため少しプラスに転じているのではないかと。外商は額面的には少額ながらも数はそこそこあり、ある程度良くなっている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・間違いなく売上高、車での来客数も増えており、前年比2～3%の売上高の伸びが確実にになっている。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・しばらくは円安、株高が継続すると考えられ、百貨店顧客の購買心理も上向いている。また、来年の消費税増税に備えての駆け込み需要もすでに始まっており、特に高額品について著しい売上の伸びがみられるなど、短期的には明らかに景気は上向いている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・日経平均株価上昇による含み資産が増えてきており、来年の消費税増税前の駆け込み需要なのか、数十万円の輸入時計等がよく売れている。
		百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・特選衣料雑貨、宝飾品など高額品の動きは引き続き堅調である。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・円安、株高の影響か高額品の動きが良い。衣料品、雑貨類も堅調に推移している。
		百貨店（販売管理担当）	お客様の様子	・ここ数か月は、主に一部の高額所得者向け商品の動きに回復がみられていたが、ここに来て今まで動きが鈍かったファッション関連の商材にも回復の兆しが顕著になってきている。
		百貨店（計画管理担当）	お客様の様子	・具体的に売上が上がったとか高額品が売れているという情報があるわけではないが、マインドとして上向きになっていると感じることが多い。
		百貨店（経営企画担当）	単価の動き	・宝飾品など的高額品の動きがある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品の売上の動きはあまり変化がみられないが、大物家具を扱っている住居関連品、特に寝具や家具等の動きがあり、非常に好調になってきている。今年に入って少しずつそのようなぜいたく品の売上が上向ってきており、良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・目玉品の販売構成比が以前より減少してきている。買上点数と単価は前年並みのため、定番商品の販売が増ってきており、以前のような低価格化への強い意識はかなり収まってきている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・円安、株高の影響が周りに浸透し始めて、相当明るい雰囲気になってきている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・高付加価値商品であるプレミアム商品の売上の好調が続いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・近隣のスーパーが閉店したため、年配客が増加している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・近隣の祭りで企画を練って実行したら、売上と来客数が大変良かった。		

コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・現在セールを行っているが、以前と比べて明らかに販売量が増加している。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ダイレクトメールの売上、回収率共に前年同月を上回っている。好景気の期待からか、買物が楽しそうである。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候が安定し、世の中も少し明るいムードになってきたため、年配客から旅行の服装について相談を受けることが多くなってきた。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・目的外の商品を提案して購入に至るケースが増えており、単価、点数増につながっている。
家電量販店（営業統括）	販売量の動き	・円安の追い風もあって、外国人観光客の来店が多くなり、免税販売が過去最高を記録している。国内消費に目を向けると、大型家電の動きは今一步遅い感じがするが、腕時計や一眼レフデジタルカメラ、タブレット端末など好調に販売実績を伸ばしている品目も多くなっている。消費者の意識も変化している兆しを感じる。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備と販売をしている。整備は順調に入っているが、販売は足踏み状態で、大変良かった先月より2割減となっている。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・最近是新規客の来店が増えてきており、成約率が増えている。
乗用車販売店（渉外担当）	お客様の様子	・低燃費で環境にも考慮した小型ハイブリッド車が相変わらず好調である。また、高額なハイブリッド車の契約も増えている。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・政府の政策が良いのか、客の動きが激しくなったように感じる。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・前月末のバックオーダーを多く持って入ったものの、純受注はわずかに前年割れと予想外に伸び悩み、売上台数は前年を大きく超えたが、店舗計画は未達成となっている店が多い。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・3月下旬以降、来客数が前年より増加傾向にある。
高級レストラン（店長）	来客数の動き	・宴会利用等ではなく、レストランの利用数の伸びが顕著である。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・今年に入り、受注件数は確実に増加している。特に、接待など法人の夜の利用割合が増えてきた。ただし、客単価は横ばいのため、思うほど売上は伸びていない。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年比でみて、3か月前の1月は1～25日の売上が92.9%、客数は93.0%であったが、今月は1～25日までで売上96.1%、客数97.2%という結果になっている。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ランチメニューの変更に伴い、単価設定を他店より高くしたが来客数に変化はなく、むしろ微増している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・多少、暖かくなったが、以前が悪過ぎたため、まだまだ変わらない状態である。しかし、3か月前と比べると良い。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べると来客数は伸びてきており、それに伴い売上も増えてきているため、少しではあるが景気が上昇傾向にあると感じる。ただし、単価の動きは相変わらず停滞しているため、大幅な改善には至っていない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストラン、宿泊共に来客数が前年比で落ちていない。来客数が前年比で微増しており、客単価も微増している。期間限定で、現状価格の下限を下回らない料金でお得感のあるメニューをレストランで提供したり、客室は閑散日と予約の込み合う日のメリハリを以前にも増して付け、閑散日の集客に努めた結果である。宴会に関しては、集客に努めたが、前年に受注できた宴席と同じだけ受注できなかった。しかし、中止になったり、規模が縮小しているわけではなく、50名前後の定例宴席は前年と同様に受注できているため、他社との競争で負けた大口宴席だけが受注できなかったととらえている。

旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・アベノミクスの影響がここへきてやっと客にも届き始めている。ゴールデンウィークに向けて、海外より国内で少し遠出をしてみようという客が増えている。被災地を訪れてみようという人も増えているため、大分景気が回復してきている。	
旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・新年度に入り、第3週ごろからようやく今年度における旅行の動きや問い合わせが増えている。特に、周年記念の旅行やスカイツリーの1周年を記念した見学ツアーなどの問い合わせが多くなっており、客の動きを感じている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前の月にしては客の動きは良い。週末は昼夜共に動きが良く、深夜は長距離の客も増えている。景気が少しずつ回復しているのか、営業回数、距離、売上共に増えている。アベノミクスおそれである。	
タクシー（団体役員）	お客様の様子	・今月は、週末の繁華街の出入が、2か月前と比較しても多少ある。しかし、契約企業からの無線注文は、相変わらず減少している。	
通信会社（経営者）	販売量の動き	・スマートテレビ向けのセットトップボックスの売行きが良く、テレビ、インターネット、電話それぞれが販売計画を順調にクリアしている。また、獲得増分を翌月に繰り越せるほど余裕が出てきている。	
通信会社（経営者）	単価の動き	・今年度から高額なコースの目標を高くしているが、今月はその目標を達成できそうである。	
通信会社（営業担当）	単価の動き	・新サービスの商品は、単価が旧サービスより月額料金が高くなるにもかかわらず商品性が受け、旧サービスからの切替え契約が好調である。	
通信会社（総務担当）	単価の動き	・最近、日常の買物時の商品価格が少し上がっている。デフレからの脱却の傾向が出てきたと感じる。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前、観光地は閑散期であった。今月は春の新緑等で若干来客数が良くなっている。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の来場数は、会員、ビジター共に順調に推移している。	
その他レジャー施設 [アミューズメント]（店長）	単価の動き	・来客数は伸びていないが、より多く消費する客層が増えてきている。	
その他サービス [福祉輸送]（経営者）	販売量の動き	・客の話の聞いていると、まだら模様というか良い産業と悪い産業がはっきりしているような気がする。	
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新年度に入り、各市町村からの指名がかなり入ってきている。仕事を選べるということは、多少なりとも景気が良い感じがする。民間の仕事についても、様々な問い合わせが多くなっている。何とか仕事に結び付けようと頑張っており、やや上向きである。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・顧客から仕事の問い合わせが増えてきている。	
設計事務所（所長）	お客様の様子	・数年前から計画をしていた民間の物件に年度内完成の動きがやっと出てきた。	
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・年明けから景気は良くなってきているが、4月に入って若干緩やかな上昇になっている気がする。当社だけでなく競合他社も良いため、なかなか好調を維持していくのは難しい。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・例年4月は契約が落ち込むが、今月は平年より成績が良い。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字を100%達成し、景気は良くなっている。3か月前に比べても景気はやや良くなっている。消費税増税前の駆け込み需要で客に動きが出ている。	
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・マスコミではアベノミクス、株高と連呼しているが、実際、地元の商店街では景気の良さ、勢いを全く実感できていない。以前のように、忙しいと駆け回るほどの商環境を今一度復活することは、社会システムを退化させない限り起きないように思う。つまり、現状のコンビニやファーストフード店、量販店などを経験してしまった客が以前の不便さを我慢できるかであり、それ以上の快適性を見出さねば商店街に未来はないと危惧している。
商店街（代表者）	来客数の動き	・最近では天気の良い日が続かない。寒かったり暑かったりで、客の出が一段と悪くなる。今の状態が続くようだと良くなってこない。	

商店街（代表者）	来客数の動き	・最近店舗の前を歩いている人が少し増えているように思うが、店内に入って来る客は若干減少している。また、入ってきた客も下見的な感じで、なかなか物を買うところまでは行き着かない。
一般小売店〔和菓子〕（経営者）	それ以外	・来客数などは少しずつ上向きになっているものの、まとまった注文が減少しているため、売上につながっていない。
一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・アベノミクスで景気が非常に良くなっているような報道がされているが、末端の小売業はまだ、あまりその影響を受けていない。
一般小売店〔靴・履物〕（店長）	来客数の動き	・地方都市の駅から離れた商店街であるが、地方都市の商店街というのは非常に疲弊しており、駅前過疎地という感じになっているため非常に厳しい。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	単価の動き	・来客数、売上共に前年比では良くなっている。しかし、新茶予約による売上の見込みは前々年と比べると、来客数は戻ったが客単価が落ち、下がっている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・高額品のアクセサリーや宝飾品に関しては売上がかなり回復してきたと思うが、身の回り品、衣料品に関しては変わらない。
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・一般消費者レベルの所得は変わっておらず、不動産や自動車以外の個人消費は全く上向いていない。
百貨店（総務担当）	来客数の動き	・県内の百貨店は高額品の売行きが良いとの発表があったが、当店では特に大きなプラス要素はない。気温が高いこともあり、衣料品は定価品の動きが良く、持ち直しているところもあるが、全体的には低調である。特に来客数については前年と比較しても厳しい状況が続いている。ただし、経済的な理由だけではない複合的な要素があり、現在客数増の取組を進めている。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・店舗へのアクセスを含む店舗環境の変化により、景気判断は難しい状況である。ただし周辺店舗では、雑貨を中心に前年比2けたを伸ばす商材群もあり、来街者も多くなっているようである。一部の高所得者の購買により全体の底上げにはなっているが、食料品の伸びがそれに比例しておらず、まだまだ一般消費者の財布のひもは堅いようである。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・株価も上がり、百貨店に晴天の兆しなどの文句をよく耳にするが、婦人服、特にカジュアルの比較的に安い物については動きが鈍く、また全体でも大幅な単価上昇や来客数の大幅増などはまだ先であると感じる。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・宝飾、時計、美術品等の高額品は好調を維持している。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・報道にあるように、宝飾品等の高額品に関して一部動きが出始めているものの、日々の買物についてはまだまだ慎重な姿勢がうかがえる。
百貨店（副店長）	販売量の動き	・集客策である大型催事を展開するも、売上は前年を割っている。大型セールを打っても客が落ち着いており、興奮状態にならない。今買わなければという購買動機に結び付いていない。ただし、外商だけは前年を超えている。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・衣料品は気温の関係で3月に若干良くなったが前倒しで売れた分、4月は前年割れになっている。食品を中心とした頻度性の高い商品については、客の買い方が変わっておらず、点数、単価、買上金額共に前年を下回っている。来客数も前年比で5%ほど減少している。
スーパー（仕入担当）	単価の動き	・円安、株価上昇で輸出産業は好景気感はあるが、一般消費者の日々の財布のひもはまだ緩んでいないため、客単価は上がってきていない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・単価は少し上がったが、来客数98%と厳しい状況は変わらない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で変化がない。
コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・市場の景気は回復傾向にあるものの、来客数、販売単価は依然として厳しい状況が続いている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は寒暖差が激しく、また雨も多くて来客数が大幅に減少している。特に週末の天候が悪いため商店街にも客が少なく、売上減に大きく影響している。来店した客も天候により商品が絞り込めず購入に結び付かない。

衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・4月に入って気温が高めに推移してきたが、温度差が激しく、春物は止まった状態が続いている。来客数も伸びず、売上は3か月前と変わらない。前年比でも数パーセント落ちている。
家電量販店(統括)	来客数の動き	・来客数が、前年比で非常に厳しい状態がまだに続いている。客単価により売上は増加傾向である。
乗用車販売店 (経営者)	来客数の動き	・3月から客の来店が少なく、決算時期を過ぎた4月としても少ない。
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・アベノミクスで相当期待できると思っていたが、やはり一服感が出ており、3月は相当数字が上がったが、4月になって販売台数は落ち込んでいる。まだまだ良いとはいえない。
乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・法人に関しては景気動向は良いと思うが、一般消費者の動きは3月と比べると極端に落ち込んでいる。1月と比べるとあまり変わらない。
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・前年に比べて暖かいため、夏関連商材の動きが早いように感じる。
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	販売量の動き	・3月は物販店がそれなりに回復したが、4月はそれが少なくなり、肌寒い日が続くためか、婦人服が不調になっている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・4月は特に月中が非常に悪く、このまま落ちていくような感じだったが、月末になって客単価が若干上がってきている。ただし、来客数はそれほど動きがなく鈍いため、全体的には横ばいである。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・前年に比べ良くなっている実感がない。
タクシー運転手	お客様の様子	・数年前から、夜10時以降に繁華街を歩いている人がめっきり減っている。また、道路の渋滞もほとんどなく、あるとすれば工事渋滞ぐらいである。客に質問すると、ほとんどの客が以前よりも残業時間が減った、同じ会社の人とお酒を飲む機会が減ったと答えている。
タクシー運転手	来客数の動き	・新入社員等、企業の人事異動の時期にしては、思ったほどの動きはなかった。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、あまり変わらない。金曜日はやや良くなっている気もするが、天候が不順であるなど、世間で騒がれているほど良くなっているとは思わない。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・見込み案件が多くなってきているが、受注に至るまでに時間がかかり、受注金額も相変わらず低い。
通信会社(社員)	お客様の様子	・この2～3か月の加入は好調だったが、4月に入り伸びていない。ニュース等ではゴールデンウィークに向け景気好調と報じられており、上向き傾向かとも思うが、4月の実績が思わしくなく、また、5月も特段の回復要素がないため変わらない。
通信会社(局長)	販売量の動き	・ニュースなどではアベノミクスが話題となっているが、当社ケーブルテレビ事業の契約数は特段好影響が出ているようには思えない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・景気が良くなっているニュースは聞くが、まだ消費者は低価格商品を購入しており、給与も変わらないという声が多いため、景気が良くなっている実感がない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の加入状況は相変わらずサービス内容の充実より料金重視であり、少しでも無駄な出費を減らそうとする意識は変わっていない。
ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・4月のゴルフ場収入は前年度を下回っている。天候不良、特に強風による利用者数の減少が原因であるが、天候不良は一時的なものでなく、以前より常態化している。したがって景気にも影響すると考える。
ゴルフ場(支配人)	単価の動き	・曜日、時間帯によってプレイ単価を設定しながら何とか集客をしており、来客数としては目標に対し8～9割を確保している。しかし、東日本大震災前の単価にはまだ回復していない。
パチンコ店(経営者)	来客数の動き	・以前は夜のピークの時間は7～8時だったが、今は8時半くらいと少し遅くなっている。夜の遅い時間は客が入っても引きが早く、客の様子は今までとあまり変わらない。
その他サービス [保険代理店] (経営者)	販売量の動き	・前年同月と比較して微増はしたが、3か月前との比較では変わらない。

	設計事務所（所長）	それ以外	・分譲用の土地の情報は、あってもほとんど商売につながらないものばかりで、地価も高い。また、一般建築情報はほとんどない。
	設計事務所（職員）	それ以外	・設計業界では、全体をみると特に変化は感じられない。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・当社は住宅を扱う不動産開発業と総合建設業だが、不動産価格は値下がりが続いており、最低価格のままである。多少インフレ気味に進行しないと良くならないと思う。工事の請負では、東日本大震災の復興関係の影響で工事原価が高騰しているにもかかわらず、公共工事を含めて請負価格が低いままであるため、赤字になってしまうこともある。このままの状態では景気は良くならない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で工事請負契約締結の動きがみられると聞くが、まだ実績には結び付いていない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注は上向きになってきており、前年比115%である。まだ売上には結び付いていないが、傾向的には確実に上向いている。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	お客様の様子	・客から景気が上がってくることを期待する声を聞くが、今のところ具体的な案件はあまりない。逆に資材が高騰してくる話があるため、どちらともいえない状況である。
やや悪くなっている	一般小売店〔茶〕（営業担当）	単価の動き	・粉末茶の販売要素である自動給茶機の売上が、ここ数か月上がってこない。企業が社員のために福利厚生費で飲み物を無料で提供する時代ではなくなってきていることを実感する数か月である。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・1点単価は変わらないが、来客数、買上点数共に減少しており、非常に良くない。天候の影響もあると感じているが、悪い状態である。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暖かくなってくれば客数も増えるはずなのだが、天候が不順であるため、やや落ち込んでいる。これからの暑さに期待している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数はほぼ前年並みに戻っている。しかし、単価が約20円、5%ほど下がり、その分がマイナスになっている。
	衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・今月半ばまでは前年比100%で、1日の売上が今年の最高額の日もあり良い動きに見えたが、後半は寒さが戻り、動きが鈍くなった。ゴールデンウィークに入っても客足は鈍り、前年比93.3%となっている。
	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・家電量販店における景気は厳しい状況であり、買い増し、買換え需要のピークがみられない。
	住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数の伸びがそれほどなく、そのため販売実績が伸びずに減少している。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・中小企業の客が多い店は悪くなっているが、大企業の客が多い店は良くなっている。全店を平均するとどちらともいえない。大企業はアベノミクスで少し良くなってきたと思う。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・前年同時期に比べて、申込が落ち込んでいる。
	タクシー運転手	お客様の様子	・4月に入ってタクシー利用客が少なく感じる。ゴールデンウィークを控えて、交通費を節約しているのだろうか。まだまだアベノミクス効果はタクシーには届かないのかもしれない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・全体的に買い控えの傾向がみられ、高額なサービスの新規契約は伸び悩んでいる。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・例年、春は販売量が増加傾向となるが、今年は微増止まりである。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・天候が不安定のため、やや悪い。早く安定して欲しい。
悪くなっている	一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・主力商品がない。LED照明や録画付きインターホンなどの商品を少しずつ販売している状況である。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・新年度を迎えて、来客数がぼったりとなっている。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・昨年オープンした競合店の影響が大きく続いている。

		スーパー（店長）	来客数の動き	・先月、近隣に競合店が出店した影響で、来客数が前年比77%程度で推移している。客数が大幅に減ってしまった分、売上増にはつながっていない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・同じチェーン店が、当店の最寄駅から一番近い場所にできてしまい、それによって朝の売上、来客数が激減している。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	販売量の動き	・前年比、前月比共に大きく減少している。目立ったタイトルの発売がなかったこともあるが、全体的に動きが鈍い印象である。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	単価の動き	・円安の影響で、あらゆる商品の値上げが続いている。しかし、食料品は生活費のなかでも一番削られてしまう部分であるため、利益を見込んだ値上げは不可能である。
		遊園地（職員）	お客様の様子	・客の消費の様子に変化がみられない。
企業 動向 関連 (南関東)	良く なっている	金融業（役員）	取引先の様子	・具体的にどこがどう良くなったとは回答しにくい が、何となく景気は良くなったように感じる。為替や 株価がすぐに生活に影響するとは思わないが、消費マ インドは確実に上がってきている。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・個人、法人共に投資に関して前向きな発言が出始め ている。アベノミクス効果により明らかに景気は上向 いている。
		税理士	取引先の様子	・高額商品が売れるようになり、景気の上向きを実感 する。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	それ以外	・街や店に活気が戻ってきている。
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・印鑑、印刷の仕事をしている。通常、15万円前後で ある最も主要な問屋への支払が、4月は約29万円 であった。神社関係であるため、景気が悪い裏返しか とも思うが、かなりの数が出ている。また、薬屋関係で 新会社の設立も多い。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・引き合いが多少上向いており、成約率が1割ぐら い伸びていることから、今後、良くなるのではない か。
		建設業（経営 者）	取引先の様子	・動いている企業と全く動いていない企業と、はっき りと区別できるようになっている。車関係は好調のよ うだが電化関係の企業は不調のようだ。
		建設業（経営 者）	取引先の様子	・協力業者の皆が忙しく、職人がなかなか見つから ない。
		建設業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・少しずつではあるが、為替や株価上昇の影響によ り、特に自動車メーカーなどからの仕事の依頼が多 くなってきている。
		建設業（経理担 当）	それ以外	・少し前と比べると具体化した見積案件が増えてき ている。ただし、そのほとんどが補助金がついた物件ば かりで、自己資金100%の事業投資の話ではない。設 備投資の話等が出てこないと本当に景気が良くなった とはなかなかいえない。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・懸案の賃貸オフィススペースの空室率は、フリーレ ント期間長期化の容認により、かなり改善が進んで いる一方で、フリーレントの影響で、賃料水準の改善は 進んでいない。もう少し時間がかかりそうである。
		経営コンサル タレント	取引先の様子	・小売店舗における来客数等が増加している。
		税理士	それ以外	・顧客の業績は、建設業などもまだ悪いままである。 また、駅前に行くまでの商店街の飲食店をのぞいて みても、客の入り具合が随分悪い。しかし、アベノミ クスで円安となり、勢いが出てきて、それが中小企業 等にもこれから浸透してくる。
		その他サービス 業〔廃棄物処 理〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・例年並みの売上を維持できる程度に回復してきて いる。
		その他サービス 業〔ビルメンテ ナンス〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・年度末のスポット作業が多かったためである。
		変わらない	食料品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き
食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き		・アルコール飲料業界は平均して悪い ため、変わらない ということは何となく良いような気もする。	

繊維工業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・アベノミクス効果で円安、株高が進んでおり、景気が改善しているとの報道が盛んだが、国内の中小製造業の景況感はその逆で、輸入に頼る原材料が高騰して入手が困難なうえ、納入価格は現状維持であり、注文量も減少傾向にある。
出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注に関しては増加と減少の相殺で、やや良い傾向にある。新規の設備投資を行っており、その効果がやや見られるかもしれない。
出版・印刷・同関連産業（営業担当）	それ以外	・当社が発注する封筒専門業者の営業の話では、例年受注量の多い3～4月が、今年は前年比で確実に減ったということである。
プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・総体的に受注量は増加傾向にあるが、仕入れが値上げ傾向にあり、利益率に大きな変化はみられない。
金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・今年に入り、今まで以上に下請に対するコストダウン要請が強い。コストダウンしても、量が増えるわけではなく現状維持の数量のため、実質の売上金額は数量が減ったことと同じである。
金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・客先では仕事が多くなったが、2社から購買するようになり、仕事が振り分けられて受注量が減り、値下げの話も出てきている。
一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が少なくなってきたため、何とかばっ回でできれば良いと思っている。努力もして頑張っていきたい。
一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近、新規の物が少ない。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、年度替わり後の受注量は低調であり、今年も変わらない。
精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一部では多少動きがあると言われているが、製造業は依然として動きが悪い。取引先上場メーカーで一時帰休を来月より実施する会社が出ている。
輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アベノミクスもまだ当社には届かない。マネーゲームの場合は株が上がった、円が安くなったとすぐ答えが出てくるが、ものづくりは時間がかかる。メーカーが減産体制を少し増産体制にするということでも、半年～1年たって、やっと忙しくなってきたというようなものである。あのときの景気は2年続いたとか3年続いたと後で言われるが、我々には実際ピンとこない。気持ちの上で少し明るくなったので頑張ろうと思っている。
その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・得意先の状況だが、特に良くなったということが具体的にはないが、景気が悪いという言葉は聞こえなくなったため、それだけでも違うのではないかと。
建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が売れない。
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末で売上増となった3月の反動か、4月は取扱量が低迷し、燃料価格の高止まり等で経費負担は重く、新年度の始まりは、暗いムードとなっている。
輸送業（総務担当）	取引先の様子	・荷主は円安のため輸出用の製品の増産を開始し、物流センターへの製品の移動は増加している。しかし、国内向けは依然として計画を下回っている。
輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・価格競争が厳しく、特にチャーター部門の受注が減少している。
金融業（統括）	取引先の様子	・円安、株高という良い材料はあるが、実態としては受注関係等はまだまだ低迷しており、資金ニーズが特に出ていない。
金融業（支店長）	受注量や販売量の動き	・今まで不動産業は好調だったが、アベノミクスで景気が良くなるのではないかとということで、地主等が土地を売るのを少し待とうという傾向があるため、物件が入りにくくなっている。また、製造業はまだ売上の増加見込みがなく、今の景気が続くのではないかと。
不動産業（経営者）	競争相手の様子	・4月完成の駅から徒歩4分、重量鉄骨造り3階建て1LDK8戸のうち半分はまだ契約されていない。駅徒歩7分、軽量鉄骨造り2階建て1LDKで5月入居可の物件6戸、駅徒歩3分、重量鉄骨造り3階建て1LDK2月入居可6戸の半分も未契約であり、新築物件も大変な時期が続いている。

	経営コンサルタント	取引先の様子	・このところ売上が上がったという商店街や店の報道が続いているが、それはごく一部の街、一部の業種に過ぎない。我々の街では、ほとんど変化がないと客の多くが言っている。客自体、収入が増えたという実感がないため、金の使い方も変わっていない。	
	社会保険労務士 経営コンサルタント	取引先の様子 取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社が多くみられる。 ・アベノミクスの効果は、実体経済にはまだ出ておらず、中小企業は相変わらずの環境にある。自動車の輸出環境が良くなったとはいえ、ほとんど主要なものは海外で生産する体制ができており、為替が変動しても日本国内の生産が急増することはない、自動車関連の製造業に良い風が吹いているわけではない。	
	その他サービス業 [映像制作] (経営者)	受注量や販売量の動き	・新年度を迎えたが新規の受注が特になく、また図書館等の新しい予算での受注もいまだにないため、景気が上向きだという実感はない。	
	その他サービス業 [警備] (経営者)	取引先の様子	・公共事業も一段落して、道路工事関係の警備が激減している。	
	その他サービス業 [ビルメンテナンス] (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・年度末に解約物件が出る一方、新規受注もあったが契約金額は厳しい。円安、株高になり、アベノミクス効果があるように言われているが、ビルメンテナンス業界にはタイムラグがあり、景気が良くなっている実感はない。	
やや悪くなっている	出版・印刷・同 関連産業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・年度末関連の仕事も終了に近づき、新規の仕事の動きは今のところまだ低調であるため、先行きに不安がある。また、紙の値上がりの話も出てきたため、製品に加算できるかが心配である。	
	出版・印刷・同 関連産業 (所長)	それ以外	・ゴールデンウィーク前の繁忙期も前年より減少傾向であり、全体の数字が常にマイナスの状況となっている。印刷広告業界は世間で騒がれているような上昇傾向をまだ感じる事ができない。	
	輸送業 (経営者)	取引先の様子	・新年度に入ってから急に受注が減り始めている。また、変動も激しく、忙しい日があつてこのままいつてくれるかと思うと、翌日からばたっと止まってしまう。荷主に聞いても今はそういう結果しか出せないということである。	
	通信業 (広報担当)	受注量や販売量の動き	・2月を底に緩やかに回復している。	
	広告代理店 (経営者)	取引先の様子	・新年度に入り、照会止まりであろう引き合いもあったが、その引き合いの進行が遅くなっている感がある。発注案件自体の動きの鈍さが増すと、当然実入りも傾くため、世間で言われている好景気感はない。	
	悪くなっている	○	○	○
雇用 関連 (南関東)	良く なっている	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・業種によりばらつきはあるものの、顧客の人材需要は総じておう盛である。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・4月になり、年度末の3月ほどの求人依頼数ではないが、物流企業の一部からは、新規事業や倉庫の拡大などで求人依頼数が増えてきている。
		人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・求人数が若干増加している。採用形態も期間限定の短期派遣というよりは長期、もしくは紹介予定派遣が多くなってきている。
		人材派遣会社 (支店長)	それ以外	・人材紹介の依頼が前年と比べても増えてきており、今後も増加基調の見通しである。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・派遣求人数が増加している。
		人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・事業の見通しがやや順調であり、採用にアクセルを踏み始めている。
		求人情報誌製作 会社 (営業担 当)	周辺企業の様子	・医療関連や介護、保育、理美容など有資格者の求人は相変わらず堅調である。また、アルバイト、パートが主だが、このところ製造業や飲食業、事務系の求人が増え始めている。
		求人情報誌製作 会社 (営業担 当)	求人数の動き	・新規の取引が若干増えてきている。
		求人情報誌製作 会社 (広報担 当)	採用者数の動き	・取引先の今年度の新卒採用が、わずかではあるが例年より増え、さらに中途採用をするという話をいくつか聞いた。わずかではあるが、景気への期待感から雇用に結び付いているのではないかと。

	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は倒産が2社、廃業が1社、それに比べ新規19社、うち大口が2社あったため、これが相当大きく影響しており、予算が出なくなった企業も2社あるが、数字的にはかなり伸びている。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・メーカーのクライアントでは、すでに海外進出済みの企業が多いが、経理、人事、海外営業、購買、技術系など広い範囲で適任者がいれば紹介して欲しいという要望が増えている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・まだ大きな変化ではないが、求人数が徐々に増え始めている。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人獲得件数が前年同月比で約20%伸びており、特に中小企業の求人の増加が目立っている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人は4月のため増えないが、企業によって同じ業種でも、業績の良し悪しの差が、かなりはっきり出てきているようである。
	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新卒採用に関しては、中堅企業の採用意欲が多少強くなっている。5月以降に説明会を継続する会社が多い。ただし、予算を増やすわけではなく、自社での開催回数が多くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・正社員の求人数は横ばいだが、パートの求人が若干増加してきている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・景気が上向きとなると転職の動きが活発になる傾向にあるが、新規求職者は減少傾向にあり、転職に向けた積極的な動きがみられない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数全体では増加傾向にあるものの、フルタイムの求人数は2か月連続で前年同月を下回っている。産業別でみると、生活関連サービス業、娯楽業、小売業のパート求人が増加する一方、情報通信業のフルタイム、パートタイム求人が減少している。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・顧客の求人数にそれほど大きな変化はない。ただし、新年度が始まったり、新卒採用に手が取られているタイミングのため、動くとしたらこれからになると思う。
やや悪くなっている	—	—	—
悪くなっている	—	—	—